

2019年度 倫理 学習の予定

①担当者 川住 賢太

②学習の到達目標

学習の到達目標	①今自分が生きている「青年期」「現代社会」の特質と、人間としての生き方に示唆を与える先哲の思想について、基礎的な知識を習得するとともに理解を深める。 ②センター試験に対応する学力をつけるとともに、社会の問題や自分の生き方について、自分の言葉で考え、意見表明していく力を身につける。
使用教科書 副教材 等	教科書「高校倫理 新訂版」(実教出版) 副教材「アプローチ倫理資料PLUS」(東京法令出版) 「山川一問一答倫理」(山川出版社) 「4ステージ演習ノート倫理」(数研出版)

③学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい
第1学期	・青年期の課題と自己形成 ・人間としての自覚	4	・「人間とは何か」、「青年期の特色」を中心に学ぶ。 ・哲学の出発点となった東西の源流思想と宗教について学ぶ。 「ギリシア・ヘレニズム思想」「キリスト教」 「イスラム」「仏教」「中国の源流思想」
		5	
	・日本人としての自覚	6	・古代から近世にかけての日本人の思想について学ぶ 「古代日本人の思想」「日本の仏教思想」「近世日本の思想」
	[課題・提出物等] ・授業内で随時、センター試験対策の問題演習をおこなう。		
	[考査出題範囲] 中間考査 教科書 p4～p49 期末考査 教科書 p50～p103		
	[第1学期の評価方法] 考査得点を基本に、出席状況・課題や問題演習への取り組み状況などを総合的に判断して評価する。		
第2学期	・日本人としての自覚	7	・近代以降の日本人の思想について学ぶ。 「西洋思想の受容と展開」
		8	
	・現代に生きる人間の倫理 ・現代の諸課題と倫理	9	・近代から現代にかけての西洋思想について学ぶ。 「人間の尊厳」「科学技術と人間」「民主社会と自由の実現」「社会と個人」「人間への新たな問い」「社会参加と幸福」 ・現代社会の抱えるさまざまな問題を、倫理的側面から学習する。 「生命の倫理」「環境の倫理」「家族の課題」「地域社会の課題」「高度情報化社会の課題」「文化と宗教の課題」「国際平和と人類の福祉の課題」
		10	
		11	
	[課題・提出物等] ・授業内で随時、センター試験対策の問題演習をおこなう。		
[考査出題範囲] 中間考査 教科書 p104～p169 期末考査 教科書 p170～p211			
[第2学期の評価方法] 考査得点を基本に、出席状況・課題や問題演習への取り組み状況などを総合的に判断して評価する。			
第3学期	センター試験に向けて特別編成授業	12 1	センター試験の出題形式と内容、難易度に対応した問題を解き、本番に備える。 ※センター試験対策用問題集を購入の予定
[年間の学習状況の評価方法] 各学期定期考査の得点を基本に、出席状況・問題演習に対する取り組みの姿勢などを総合的に判断し、評価する。			